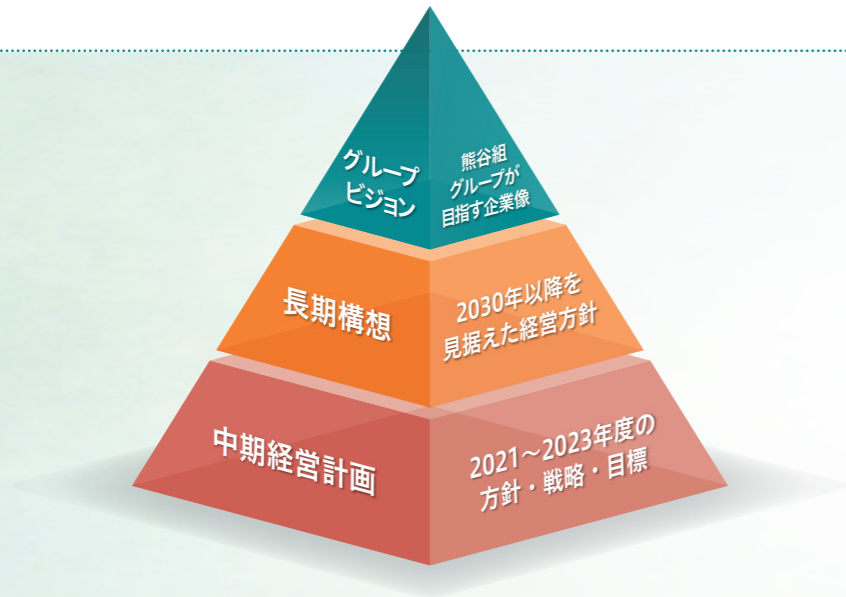


熊谷組グループは“社会から求められる建設サービス業の担い手”として  
いつの時代も社会課題と真摯に向き合い、目指す社会の実現に貢献していきます。

### 経営計画体系

熊谷組グループビジョン  
**高める、つくる、そして、支える。**  
私たちがつくるのは、単なる建物や建造物だけでなく、  
そこに集う人々とともに作りあげていくコミュニティーです。



### 社訓

社業の発展を欲せば先ず信用の昂揚に努められたし  
工事施工に当たりては親切を旨とし得意先の不安の除去に努められたし  
相互に共存共栄を基とし一致協力して業を励み成績向上に努められたし

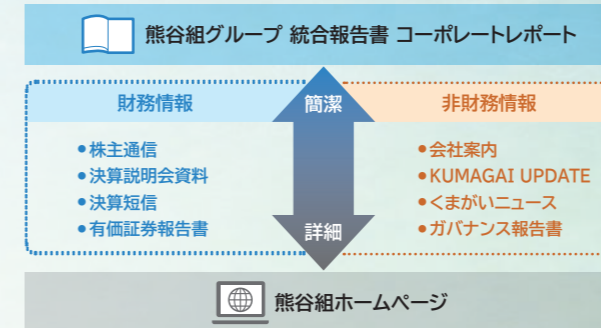
### 経営理念

- 建設を核とした事業活動を通して、国内外において自然との調和のとれた人間活動の場を構築し、優れた総合力を発揮して社会に貢献する企業集団を目指す。
- 一貫した高品質な顧客サービスと企業環境との調和を図り、社会に豊かさを提供する、創造的な企業集団を目指す。
- 意欲と誇り、自信に満ちた社員に、多様な自己実現の場を提供する活力ある企業集団を目指す。
- 企業市民としての自覚と責任を持ち、品位を重んじた行動により、社会に評価される企業集団を目指す。

### 編集方針

本コーポレートレポートは、熊谷組グループの経営方針や事業戦略、価値創造の取組みについて、すべてのステークホルダーの皆様にご理解いただくことを目的に編集しています。  
ESGに基づく事業活動とSDGsとの関わりを示し、持続可能な社会の形成に貢献していることをお伝えします。  
ステークホルダーの皆様の情報開示への期待に応え、客観性・透明性を確保するために各種ガイドラインを参考にしています。

### 情報開示体系



### 対象期間

2022年度(2022年4月1日~ 2023年3月31日)  
活動事例などについては、必要に応じ2023年4月以降の事例も紹介しています。

### 対象範囲

熊谷組およびグループ会社(国内6社、海外1社)を報告の対象としています。熊谷組単体に関する報告は、主語を「熊谷組」または「当社」としています。グループ会社個社に関する報告は、個社名を主語としています。また、国内の熊谷組の環境保全活動数値データの対象工事は、熊谷組単独工事と熊谷組が幹事会社であるJV工事としています。

### 発行

2023年9月発行(前回:2022年9月 / 次回:2024年9月予定)

### 参考にしたガイドライン

- GRI サステナビリティ・レポート・スタンダード
- 環境省 環境報告ガイドライン
- IFRS財団 国際統合報告フレームワーク
- 経済産業省 価値協創ガイダンス

### 将来見通しに関する注意事項

本レポートに掲載された意見や予測などは発行時点の当社の判断に基づく将来の見通しです。そのため実際の業績などは様々な要因により異なる可能性があることをご承知おさください。



WEBサイトのご案内  
<https://www.kumagaigumi.co.jp/>

## CONTENTS

### 価値創造ストーリー

- 4 社長インタビュー
- 8 価値創造の歴史
- 10 熊谷組グループの事業
- 12 熊谷組グループ社長座談会
- 16 熊谷組グループの価値創造プロセス
- 18 2022年度ハイライト  
財務情報・非財務情報  
竣工物件

### 持続可能な成長に向けた戦略

- 22 経営戦略
- 24 財務分析
- 26 サステナビリティに向けた取組み
- 28 ESG・SDGsマトリクス
- 30 有識者意見交換会
- 34 国内土木事業
- 36 国内建築事業
- 38 海外事業
- 40 建設周辺事業

### 経営基盤の強化

- 42 個性ある多様な人財とともに
- 46 社会課題を解決する技術の開発
- 50 DXの推進

### 特集 1

- 52 首都圏最大級のプロジェクトで取り組むSDGsを意識した現場づくり

### 特集 2

- 54 熊本地震によって被害を受けた地域の水源デジタル技術を駆使し、早急な復旧に取り組む

### ESG活動を通じた価値創造

- 56 環境
- 62 労働安全衛生
- 63 品質保証
- 64 人権
- 66 ステークホルダーエンゲージメント
- 70 役員紹介
- 72 コーポレートガバナンス
- 76 コンプライアンス
- 78 リスクマネジメント
- 80 社外取締役座談会

- 84 10年間の主要財務データの推移
- 86 会社情報・株式情報
- 87 組織図